

岡山市国土強靱化地域計画（素案）への  
ご意見募集（パブリックコメント）の結果について

1 意見募集の概要

- (1) 募集期間  
平成29年1月4日（水）から平成29年2月2日（木）まで
- (2) 閲覧場所  
危機管理室、情報公開室、各区役所、各支所、各地域センター  
市ホームページ
- (3) 提出方法  
ホームページの専用入力フォーム、電子メール、ファクス、郵送又は持参
- (4) 意見提出先  
岡山市危機管理室

2 意見募集の結果

- (1) 提出状況  
46名（60件）  
※同一の提出者から複数のご意見をいただいている場合があるため、提出者数と意見件数は一致していません。
- (2) ご意見の概要及び本市の考え方

No	項目	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	計画全体	よくできた計画だとは思いますが、全般的に数値表現が統一されていない。 耐震化率計算の元となる棟数を挙げているところと挙げていないところがある。素案すべてに言えることだが、率を表示する場合、すべて根拠となるデータを示すべきである。	ご意見を踏まえ、目標の達成が分かりやすくなる場合は、根拠となる数値を記載します。
2	計画全体	「■橋梁の耐震化」は、(24/36)、「■公園施設長寿命化」は(327/464)など単位が記載していないものが多数ある。数字には単位を付けるべきである。	ご意見を踏まえ、単位を記載します。
3	計画全体	%の記載が整数止めと小数点第一位までのものが混在している。統一できない根拠はあるのか。	関係機関への報告数値等が整数のものと小数点第一位のものがあります。ほかの計画や白書などと数値を揃えるため混在しています。
4	計画全体	地球温暖化が問題となっている。岡山市もいろいろな施策を実施していると思うが、それぞれ国土強靱化、地球強靱化ではないか。ぜひこの計画に盛り込んでほしい。	本計画は、あらゆる災害に対する地域の強靱化を目的として策定いたします。地球温暖化への対応につきましては、今年度改訂を予定している「岡山市地球温暖化対策実行計画」で、新たな温室効果ガス削減目標を設定し推進することとしています。

5	計画 全体	岡山市は災害が少ない都市であると言われて いますが、災害に強い都市であるかどうかにつ いては疑問です。そのためにもこういった計画を 策定し、災害に備えることはぜひ必要だと思 います。 計画は作りっぱなしでは意味がありませんので、 来年度からは計画の内容を着実に実行してい ただきたいと思います。	ご意見のとおり、事業を進めてまいります。
6	計画 全体	施策の推進方針の■ごとに担当部署を書いて いただけるとよりわかりやすくなると思 います。 策定後は、それぞれの事業を責任もって推進し ていただきたいので、本文中に担当部署を明記 してください。	ご意見のとおり、担当部署については、主な施 策について資料編の指標目標一覧で明記して いくこととしています。
7	計画 全体	施策を推進するにあたって、予算措置につ いてはどのように考えるのでしょうか？ 強靱化地域計画を策定することにより、有利な 財源が充当できるのでしょうか？ 市予算の編成にあたっては、地域計画に記載 されていることで必要性が認められるのでし ょうか？ 計画の推進、進捗管理を実施する体制、スケ ジュールはどのようになるのでしょうか？	国土強靱化地域計画策定ガイドラインによると 関係府省庁所管の交付金・補助金を活用する 場合は、配分にあたり「一定程度配慮」されるこ ととなっています。 計画の推進、進捗管理は、各担当部署ごと に行っていくこととなります。また、PDCA サイクル に基づき、計画を着実に推進していき、概ね5 年ごとの計画見直しを行うこととしています。
8	計画 全体	大変よくできた計画だと思います 計画通り強靱化を進めてください	ご意見のとおり、事業を進めてまいります。
9	計画 全体	岡山市民のためとなる法律？だと思います。	ご意見ありがとうございます。
10	計画 全体	計画自体は、良いと思う。耐震化をはじめコスト がかかるものも多いので、優先度も考えながらし っかり取り組んでほしい。また、大規模災害発 生時にも、混乱を最小限にとどめ、的確な対応 ができるよう機動的な体制を整えてほしい。	ご意見については、今後の事業実施及び体制 整備の参考といたします。
11	計画 全体	あらゆる災害と事態を想定し、体制を整えてい くことで被害を最小限に止め、1日も早い復興に つながることを痛感します。 日頃の意識設定の重要性と各々の自覚と責任 感を再確認するきっかけとなりました。	当該計画は、ハード・ソフトの両面から強靱なま ちづくりを進めていくものです。もちろんソフト対 策としては、この計画を通じて個々の防災意識 向上や自覚を促す狙いも含まれていることか ら、一定の効果があるものと考えております。

12	計画 全体	<p>この計画では、ハード事業は非常に詳細にわたり目標年度まで示されており、良くわかりました。目標年度に向けて是非とも頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>しかし、私たち市民が、地震等の災害に会ったときに、どのように行動すればよいのか(逃げる?避難場所に行く?家にいる?等)自助、共助の部分をもう少し具体的に記述して欲しかったと思いました。</p>	<p>今回の計画は、自然災害に対する地域の強化を目的としており、そのために実施すべき施策をまとめたものです。具体的な施策の実施については、各関係部局が行っていくこととなります。</p> <p>ご指摘の自助・共助については、今後とも防災出前講座、防災まちづくり学校の開催、岡山市防災マニュアル詳細版の作成・配布などを通じて市民へ防災知識の普及を推進していきます。</p>
13	計画 全体	<p>リスクシナリオごとに推進方針や数値目標等を定められていて、様々な状況を想定されている計画だと思います。計画策定後は着実に実行して行って下さい。</p> <p>災害関係の計画やマニュアルなどを策定することは非常に重要なことだと思いますが、一方で、実際の現場対応はマニュアル通りにいかないことも多く、非常に難しい場面があると思います。</p> <p>近い将来発生するであろう南海トラフ地震には、今まで被災地に派遣された職員の方の経験が少しでも活かせるようにしておいてほしいです。</p>	<p>ご意見のとおり、事業を進めてまいります。</p> <p>また、職員の経験を今後の事業実施の参考としてまいります。</p>
14	計画 全体	<p>岡山市で大規模自然災害に遭遇した場合の考えられるそれぞれの災害リスクを想定し、現状や課題等まとめており、リスクシナリオ別の推進方針や数値目標等について設定され、全般的にわかりやすくまとめられている。</p> <p>今後も、大規模災害に備え、計画的に目標が達成されるよう一住民として期待したい。</p>	<p>ご意見のとおり、事業を進めてまいります。</p>
15	計画 全体	<p>それぞれの部署が、計画に記載されたことを着実に実施していただき、災害等に強い街にしていきたいことを望みます。</p>	<p>ご意見のとおり、事業を進めてまいります。</p>
16	計画 全体	<p>岡山市は災害が少ない地域であり、大きな被害を受けた経験もほとんどない。災害に備えて計画を策定することは有意義であると思うが、災害に備えて市民一人一人が意識して、取り組むことが最大の防災対策ではないかと思う。官ができることは限られている。</p> <p>地域住民が主体となった防災組織作りや、防災訓練の実施に向けて、市役所が啓発や教育を進めていくことが必要だと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、事業を進めてまいります。</p>

17	計画 全体	<p>阪神・淡路、東日本、熊本と、相次ぐ震災に不安を感じています。</p> <p>しかし、時間の経過とともに危機意識も薄れるため、それを維持することが大切だと思っています。</p> <p>有事に備え、地域防災計画や国土強靱化計画の策定は非常に心強いものと思っています。策定後は、若者から高齢者に至るまで広く浸透するように市民にPRをお願いします。</p>	ご意見のとおり、事業を進めてまいります。
18	計画 全体	<p>大規模災害発生時に、一番大事なことは、「自分の身は自分で守る」ということが一番肝心なことと考える。</p> <p>このため、計画の推進方針に書かれている「防災教育・啓発」が重要であると考えます。</p> <p>特に災害を知り、身の守り方を知ることを教育、啓発していくべきと考えます。</p>	ご意見のとおり、事業を進めてまいります。
19	計画 全体	<p>脆弱性の評価結果をすべて書いた上で、次に施策の推進方針を記載しているが、評価の結果、浮き彫りになった課題に対してどういった施策を展開していくのかがわかりにくい。目標ごとに脆弱性の評価結果と施策の推進方針を対して記載してはどうか。</p>	資料編に現状と目標を確認できるように指標目標一覧を添付することとしています。
20	計画 全体	<p>市として具体的な数字と達成率を示し、災害に対する検証をしていることは、大変重要な事だと思います。</p> <p>私の住む市は市全体によく避難勧告が出るものの何も起こらず平穏に過ごしていますが、本当に大丈夫なんでしょうか？みないたいものです。</p>	目標の達成状況や社会状況の変化等を踏まえ、計画の見直しや改善を図りながら着実に推進していきます。
21	計画 全体	<p>とてもよく考えられた計画だと思います。</p> <p>ここから、より具体的なものが計画され、私たちの生活がより強いものになっていったらいいと思います。</p>	ご意見のとおり、事業を進めてまいります。
22	計画 全体	<p>日頃から推進する施策がわかりやすくまとめられていて、とても見やすい計画になっていると思います。策定後はPDCAサイクルにより着実に事業を進めてください。</p>	ご意見のとおり、事業を進めてまいります。

23	計画 全体	災害に強い街づくりは重要であり、岡山市がもっとイニシアチブをとるべきであると思います。たとえば、建築基準法42条2項道路でセットバックした土地は、法律が意図したとおり何が何でも空地にさせておくべきで、条例を制定してでも、もっと踏み込んだ施策を展開すべきです。また、都市計画も防災減災の観点をもっと入れるべきと考えます。	平成 24 年 3 月策定の岡山市都市計画マスタープランにおいて、都市防災の方針を位置付けております。 セットバック部分の対応についてのご意見は、今後の施策の参考にさせていただきます。
24	計画 全体	自然災害を 100%防ぐことはできませんし、施策の 100%実施もありえないと思います。要は罹災時にどうやったら少しでも減災できるかに尽きるのではないのでしょうか。 社会が「自助・共助・公助」の概念を認識している前提で計画を作成しているという記載が必要ではないのでしょうか。	ご意見のとおり、自然災害を100%防ぐことはできません。今後も、市民の防災の知識向上に向けた取組を進めてまいります。
25	計画 全体	最近、想定外の災害が起こっているのです、このような計画を作ることは、有意義だと思うし、市役所のそれぞれの部署が行う施策が、災害に対してどのような有効性があるか整理できている。 重要なのは、PDCAを重ね、市全体で計画の実行性を確保することが重要と考える。	ご意見のとおり、事業を進めてまいります。
26	第 3 章	素案 10 ページの図「地震波の集中による震度の増幅について」について 「新南区役所」を「南区役所」に、「南区役所」を「灘崎支所」に修正したほうがよいと考えます。 理由：南区役所は灘崎地内から浦安南町地内に移転しており、現在の施設名称と整合を図るべきと考えます。	ご意見を踏まえ、図の修正を行います。
27	第 3 章	5ページの人口に関する記述で、平成27年国勢調査における年齢別人口の割合が、総合計画(素案)に掲載されているものと異なっているが、注釈等が必要ではないか。	ご意見を踏まえ、総合計画との整合を図るよう修正することとします。

28	第8章	<p>目標8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会、経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する。</p> <p>大規模災害の風評被害に対する検討が必要ではないか。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害後の風評被害が広がらないように適正なマスコミ報道がなされる体制整備の構築。</li> <li>・大規模自然災害の場合、旅館・ホテル等宿泊施設への営業上の問題が懸念されるが、そうした施設を避難所として活用できるような体制整備の構築。</li> </ul>	<p>大規模災害時の旅館・ホテル等宿泊施設としては、各施設の宿泊者の対応や予約の扱い等の即時対応に追われるものと想定され、ご意見のとおり、その後の風評被害も懸念されると思います。</p> <p>避難所としての活用については、旅館・ホテルが避難所として対応可能な体制整備や営業への影響等々の課題もあり、各施設の理解と協力が必要であると考えており、風評被害による悪影響を最小限に抑えるためには、正しい情報提供に努めることが重要であると考えております。</p> <p>ご意見を踏まえ、今後の事業実施の参考といたします。</p>
29	事態番号 1-1	<p>「■消防法令違反の建物に対する是正推進」の指標の「%件」という単位は、「%」の、誤りではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「%」に修正します。</p>
30	事態番号 1-1	<p>国土強靱化計画の目標のうちで、目標1「人命の保護が最大限図られる」が当然ですが、1番重要だと考えます。</p> <p>特に子供たちの命が守られることが、重要と考えますので、目標1の推進施策の中でも、幼稚園、保育園、小学校、児童館の耐震化は早く進めてもらいたいと考えます。</p> <p>予算とかいろいろあるでしょうが、最低でも耐震化100%になるという年度はぶれないでほしい。</p>	<p>「岡山市有建築物の耐震化計画指針」に基づき、順次計画的に進めていきます。</p> <p>また、児童館の耐震化について、前倒しで実施することを検討し、早期に全施設の耐震化が完了するように努めてまいります。</p>
31	事態番号 1-2 1-4 1-5 8-3	<p>少子高齢化社会の進展の中で、地域コミュニティの活性化のためにも自主防災組織の向上を目指すべきだと考えますので、その必要性、役割をわかりやすく周知していただきたいと思えます。</p>	<p>ご意見のとおり、さらに周知に努めてまいります。</p>
32	事態番号 1-3	<p>現在は市街地であっても、元は水田であった、用水路がそのまま残っていて、大雨などのときに、下流の町内に内水氾濫を誘発する結果となるところはないか検討し、対処してほしい。</p>	<p>現在、用水路が排水機能を担っている箇所が多いため、市の横断的な組織により総合的な見地で運用、検討していきます。</p>
33	事態番号 1-3	<p>岡山市の主な災害では、浸水が圧倒的に多い。1-3で記述はあるが、南部は特に潮位の関係もあり排水機対策のひとつとして、児島湖の排水対策について記述してほしい。</p>	<p>児島湖締切堤防は国の施設で県が管理を行っています。県が責任を持って適切な運用を行っています。</p>

34	事態 番号 1-5	岡山県国土強靱化地域計画のP. 11に○ 災害時にも県ホームページの機能を維持し、重要情報が適切に提供できるよう、サーバやお問い合わせ機能等を二重化するとともに、災害時においても、通常時と同水準の情報提供を行うための仕組みの検討や、機器の整備を進める。 【3-3 県民】とある。岡山市も推進すべき。	本市でも、災害時に市民の皆様へ重要情報を適切に提供することの重要性は認識しています。市公式ウェブサイトをはじめとする主な重要システムのサーバ等については、既に民間の堅牢なデータセンター(耐震性、耐火性、電源 2 重化、通信経路 2 重化等を実現)に集約することで対策を行っています。また、今後は市公式ウェブサイトにおいて必要な情報を迅速に提供する仕組みを導入するなど、災害時においても、より適切な情報提供が安定して行えるように、継続的に検討・準備を行って参りたいと考えています。
35	事態 番号 2-3	消防団活動力の強化が国土強靱化に寄与することは間違いなし誇りに思う。ただ、内容が装備品の充実だけでいいのか。日頃、まともな操法訓練をしていないのではないかと思う団もあり、消防団の中でも防災意識の高低がある。大災害が発生した時は、4,600人の団員と700人の消防職員が災害対応の中心にならなければならない。そのためには、消防団員の防災意識の高揚、レベルの引き上げも必要ではないか。書き加えてほしい。	現在、操法訓練のほか、各署で実施する現地訓練等への参加、自主防災組織に対する協力・支援等の活動を行っておりますが、より一層の消防団活動力の向上を図り、災害対応力の向上につながるよう、今後の事業実施の参考とさせていただきます。
36	事態 番号 2-5	大都市では、災害時に交通機関の機能が麻痺し、駅等に帰宅困難者があふれている状況が起こっている。 岡山市でも、滞在や帰宅支援について、民間施設等との協定などにより、備えを着実に進めていってほしい。	ご意見のとおり、帰宅困難者対策を実施してまいります。
37	事態 番号 2-7	「■下水道管渠の耐震化」の「調査診断率」は、「調査診断延長」の誤りではないか。	ご意見を踏まえ、「調査診断延長」に修正します。
38	事態 番号 2-7 8-6	避難所に指定されている 学校等でのトイレの確保が言及されていない。 ・トイレ用受水槽設置の必要性 ・洋式トイレ設置の必要性	今後、避難所等に設置するマンホールトイレの必要性を検討する予定としています。 体育館及びその周辺にある洋式便器数は小学校 88 校に 190 器、中学校 37 校に 79 器が設置されています。
39	事態 番号 2-7 8-6	公衆便所についても上記と同様の必要性がある。	トイレの洋式化については、維持管理していただいている町内会等とも相談しながら、個々のケースに応じた取り組みを行っています。

40	事 態 番 号 3-1	<p>素案 15 ページ、38 ページ、80 ページ、102 ページの「3-1 矯正施設からの被収容者の逃亡による治安悪化」について</p> <p>矯正施設からの被収容者の逃亡は、大規模自然災害発生時の治安の悪化の一要因にすぎないと考えます。他にも物資の供給不足による略奪や扇動などの要因が考えられることから、大規模自然災害発生時の治安悪化を広くとらえた表現にすべきと考えます。</p>	<p>ご指摘のように略奪や扇動などによって治安が悪化することも考えられますが、本計画では、市のできる範囲の施策について記載をしております。</p>
41	事 態 番 号 3-3	<p>「■本庁舎の代替施設の指定」について、代替施設の指定しか記載がないのはおかしいと思う。代替施設の指定よりも、庁舎の耐震化を優先すべきではないか。</p>	<p>本庁舎の耐震化・建て替え等については、早急な対応を必要とする学校園等の耐震化の進捗状況に加え、今後増大が予想される社会保障関係費や、他の市有施設の整備に多額の経費を要することなどを踏まえ、その時々々の財政状況等を慎重に見極める必要があると考えています。そこで、業務継続体制を確保するため、まずは代替施設の指定から行うことを考えています。</p>
42	事 態 番 号 3-3	<p>本計画を積極的に実施していただきたい。</p> <p>ハード面、ソフト面大変素晴らしい計画ですので、更に推し進めるために、職員の活動拠点となる庁舎等の耐震化等を早期に整備していただきたい。</p>	<p>庁舎の耐震化等については、早急な対応を必要とする学校園等の耐震化の進捗状況に加え、今後増大が予想される社会保障関係費や、他の市有施設の整備に多額の経費を要することなどを踏まえ、その時々々の財政状況等を慎重に見極める必要があると考えています。そこで、業務継続体制を確保するため、まずは代替施設の指定から行うことを考えています。</p>
43	事 態 番 号 3-3	<p>市役所本庁舎を建て替えてください。</p> <p>南海トラフ巨大地震が発生して市役所本庁舎が倒壊した時、どうやって業務を継続するのか？</p> <p>本気で岡山市を「強靱な地域」にしたいなら、岡山市の顔である市役所本庁舎を即刻建て替えてください。</p>	<p>本庁舎の耐震化・建替え等については、早急な対応を必要とする学校園等の耐震化の進捗状況に加え、今後増大が予想される社会保障関係費や、他の市有施設の整備に多額の経費を要することなどを踏まえ、その時々々の財政状況等を慎重に見極める必要があると考えています。そこで、業務継続体制を確保するため、まずは代替施設の指定から行うことを考えています。</p>

44	事 態 番 号 3-3	<p>計画内容は、大変ずばらしいものになっていると思います。この計画が、絵に描いたもちにならないよう実行性を上げるための施策を市役所内関係部署との連携を取って進めていただきたいと思います。</p> <p>また、南海トラフのような大地震が来た場合に備えて、耐震化された市役所本庁舎の整備を早急に進めていただけたらと思います。</p>	<p>本庁舎の耐震化等については、早急な対応を必要とする学校園等の耐震化の進捗状況に加え、今後増大が予想される社会保障関係費や、他の市有施設の整備に多額の経費を要することなどを踏まえ、その時々々の財政状況等を慎重に見極める必要があると考えています。そこで、業務継続体制を確保するため、まずは代替施設の指定から行うことを考えています。</p>
45	事 態 番 号 3-3	<p>岡山県国土強靱化地域計画のP. 10に、(県・市町村庁舎、施設の耐災害性向上)○ 岡山県耐震改修促進計画及び市町村耐震改修促進計画で定める耐震改修等の目標を踏まえ、県庁舎、県民局及び市町村庁舎等、防災拠点となる公共施設の耐震改修を計画的に進める。【3-3 総務、県民、土木】とあり、その指標として、P. 11に災害時の応急活動や復旧活動の拠点となる市町村庁舎の耐震化率の平均55%(H25)→95%(H32)とある。平成32年度に岡山市の本庁舎が耐震化されていなくても5%の中という考えもあるかもしれないが、岡山市計画の第2章強靱化の基本的な考え方に、県地域計画との調和を図るとあるので、方向性だけでも庁舎の耐震化に関して触れるべきではないか。</p>	<p>庁舎の耐震化・建替え等については、早急な対応を必要とする学校園等の耐震化の進捗状況に加え、今後増大が予想される社会保障関係費や、他の市有施設の整備に多額の経費を要することなどを踏まえ、その時々々の財政状況等を慎重に見極める必要があると考えています。そこで、業務継続体制を確保するため、まずは代替施設の指定から行うことを考えています。</p>
46	事 態 番 号 4-1 4-2	<p>災害時によりよい判断をするためには、正確な情報を得ることが大切だと思うので、普段から使い慣れた機器で、素早く、正確な情報を受け取れるよう準備をして欲しい。</p>	<p>ご意見のとおり、情報収集の訓練等を定期的に実施してまいります。</p>
47	事 態 番 号 4-1 6-1	<p>非常時に太陽光発電と電気自動車を考えているが、発電された電力が自動車充電用としての独立性が確保されているか、ほかにつながっていないか。</p>	<p>発電された電気については、情報通信機器、電気自動車をはじめ、災害発生時に必要となる多様な用途での利用を考えています。</p>
48	事 態 番 号 5-1	<p>防災、減災を考えるには、市民一人一人の意識向上に加え、企業の意識向上が必要である。市民に対する出前講座だけでなく、企業に対する出前講座を充実させるべきである。また、県内企業の本部機能が集中している岡山市が、企業BCP作成をもっと積極的に支援すべきであり、現在の記載では不十分だ。</p>	<p>企業に対する一般的な防災知識向上のための出前講座については、一層の充実を図ります。また、企業BCP作成については、県・その他の支援機関等と連携して支援してまいります。</p>

49	事態 番号 8-3	安全・安心ネットワークの活用を想定していると思われるが、名前のごとく、災害時に機能する組織であればよいが、とても思えない。なぜ、既存の自治組織である町内会を活用しないのか理解できない。町内会の方が安価で確実と思える。	町内会をはじめ各種団体で構成される安全・安心ネットワークは、防災をはじめとして主体的な活動を行っています。
50	事態 番号 8-6	通信手段の確保策として「衛星携帯電話」を避難場所に準備すべき。	避難所の通信手段確保として、電源不要で災害時には優先回線となる特設公衆電話の設置に取り組んでいるところであり、併せて通信事業者による通信機器の臨時設置も予定されてることから、通信手段は十分確保されていると考えています。
51	事態 番号 8-6	私は、アレルギーではありませんが、動物が大嫌いで、飼い主が犬や猫に舐められているのを見ると虫唾が走ります。  昨今、避難所にペットを連れて行きましようと思いに報道されていますが、絶対に認めないでください。動物との共同生活は考えられません。ペットは飼い主が責任もって災害対策をすべきです。	ご意見については、今後の事業実施の参考といたします。
52	事態 番号 8-6	計画素案(P100)の避難所の備えの中で通信手段の確保として「施設管理者が設置した無線 LAN の有効活用を進める」とあるが、災害対策基本法では指定公共機関である通信事業者は業務を通じて防災に寄与しなければならないことになっており、実際、熊本地震では携帯電話事業者が、避難所において臨時の無料公衆無線 LAN の設置を進めていたとの記事を目にしました。  このため、無線 LAN の通信環境確保は、通信事業者も含めた取り組みとなることがわかるように明記すべきではないか。	ご指摘のあった件については、誤解が生じないよう、「また、施設管理者が設置した無線 LAN の活用を進める。」を「また、避難所開設時に指定公共機関である通信事業者から提供される情報器機に加え、施設管理者が設置した無線 LAN の有効活用も進める。」に修正します。

53	その他	<p>防災教育・啓発は重要であるが、要配慮者が多くなれば、教育・啓発しても追いつかなくなるため、年をとっても要配慮者にならないための努力が必要だ。</p> <p>岡山市は、市民が介護を受けたり寝たきりになったりせずに日常生活を送れる「健康寿命」を延ばすため、多くの事業を行っているが、要配慮者を減らし、助ける側を増やすことは、国土強靱化につながると思うがどうか。</p> <p>胸を張って取り上げてほしい。</p>	<p>市民の健康づくりや介護予防を進めるため、地域での健康教室や介護予防教室の開催等を実施しており、引き続き健康増進計画である「健康市民おかやま21(第2次)」をもとに、健康寿命の延伸に取り組んでいきます。</p>
54	その他	<p>老朽化した危険な空き家を放置すると、防災・防犯・衛生・景観等の観点から、市民の生活環境に深刻な影響を及ぼす場合があるため、岡山市は、岡山市空家等の適切な管理の促進に関する条例を制定し、空家等の被害や管理方法の相談を受けたり、除却、利活用をすすめている。</p> <p>国土強靱化で取り上げるべきではないか。</p>	<p>空き家も「住宅及びその他の建築物」に含まれるものであり、これらに対する「耐震化」には、耐震改修を施す場合のほか、老朽化した建築物の除却による耐震化率の向上も含まれるものと考えております。</p>
55	その他	<p>少子高齢化は日本国の存続にかかわる問題である。日本国を強靱化するためには、出生率が2.0以上キープが必要ではないか。</p>	<p>希望する誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進め、出生率の向上につなげていく必要があると考えます。</p>
56	その他	<p>民間企業、団体等と物資援助、輸送等にかかる様々な協定を締結されていると思うが、いざ災害発生時に実効性が高いものとなるよう、具体的な取り決めについてはしっかり調整をいただきたい。</p>	<p>ご意見については、今後の事業実施の参考といたします。</p>
57	その他	<p>用水転落事故を全市民の協力で無くしよう。</p> <p>市内で落ちたら自分ではあがれない危険な所があまりに多く、転落事故が多発しているので、対応を急ぐべきである。</p>	<p>用水路等の転落危険箇所については、平成28年度に実施した一斉点検の結果に基づき、危険性の高い箇所から順次対策を実施することとしております。</p> <p>今後も引き続き、転落危険箇所の早期の安全対策実施のため、集中的に取り組んでまいります。</p>

58	その他	<p>郷土の歴史を調べ、人災や天災の実態を知り、人災や天災への備えを高めよう。</p> <p>岡山市の過去の災害を調べることで、今後の防災や減災を進めよう。</p> <p>平和で豊かな生活が続く現在、油断大敵で人災・天災への備えを忘れてはいけないことを訴えたい。家族生活や町内、市内の地域社会で人災・天災への備えは十分にできているか、反省してみて、不備な点があればすぐ対応しなければならない。</p>	<p>ご意見については、今後の事業実施の参考といたします。</p>
59	その他	<p>使われない、古い水門と危険な石橋、狭く傷んだ市道の改修を提案。</p>	<p>水門については、使われていないのであれば、撤去、廃止を含めて検討します。</p> <p>傷んだ市道については、安全で円滑な道路交通を確保するため、順次補修などを実施しております。</p> <p>今後も引き続き、市道の適切な維持管理に努めてまいります。</p>
60	その他	<p>旭川水系の二つのダム貯水、放水の様子は岡山市民の生活に大きな影響力を持っていて、その失敗は大災害を起こす。それは操作ボタン一つで行われるが、その仕様計画がダムが造られた当時のままでは近年の温暖化による異常気象の増大や産業の変化に最適とはいえない。今後その変化に対応して研究し、実行していける組織を作っておくことが重要である。経費も少なく、その成果は大きい。</p> <p>ダムの放水はわずか2、3時間で岡山市に達し大災害の発生を左右する。</p>	<p>ご意見については、今後の事業実施の参考といたします。</p>